



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 30 No. 2584

2016-2017年度国際ロータリーのテーマ

2016-2017年度RI会長 ジョンF・ジャーム

2016-2017年度士別ロータリーのスローガン

共に笑顔で支えあい輝く未来を創ろう



人類に
奉仕する
ロータリー



2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>
士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

■例会場／士別グランドホテル
■例会日／毎週月曜日 12:10～13:10

■会 長／山口 哲雄
■副会長／佐藤 元保
■副幹事／片庭 隆暁
■事務所／士別グランドホテル
士別市東3条6丁目4番地 TEL0165-23-1234

第2666回例会 2017年3月27日(月)

今日のプログラム ・夜間例会

前回(3月13日)の記録 ・普通例会・結婚祝

司 会 泉谷 勇 会場監督
齊 唱 我等の生業
本日の出席 会員 46人中 出席者 38人 出席率 82.61% 修正 84.78%

本日の欠席 加藤博・川島啓・國森和磨・近藤峯世・谷温恵・奈良康弘・千葉繁夫・松塚信雄

ゲ ス ト

ビ ジ タ ー

ニコニコBOX 近井孝義 (北森協同組合理事長就任)
但木行久 (誕生祝)

累計 266,340円

例会予定

■ 3月例会日[水と衛生月間]

- 3月 6日 (月) 普通例会・理事会
- 3月13日 (月) 普通例会
- 3月20日 (月) 休会 (春分の日)
- 3月24日 (金) 士別RC創立記念日
- 3月27日 (月) 夜間例会

■ 4月例会日[母子の健康月間]

- 4月 3日 (月) 普通例会・理事会
- 4月10日 (月) 特別休会
- 4月17日 (月) 普通例会
- 4月22-23日 (土日) PETS・地区協議会
- 4月24日 (月) 夜間例会

■会務報告・・・・・・・・・・山口哲雄 会長

昨日の大相撲春場所は久々の日本人横綱に大いに盛り上がりを見せ、稀勢の里も白星で初日を飾りました。さらに今場所にも期待したいところです。

スポンサークラブである旭川西RC60周年記念式典が4月16日に行われます。私達のクラブ50周年の式典にはスポンサークラブとして多くの出席を頂いております。士別RCの創立においては、大変お世話になりご協力を頂いた経緯があります。是非都合のつく方はご参加くださいますよう私からお願い申し上げます。

3月24日は、当クラブの創立記念日です。1960年に会員数25名で第2500地区内で17番目のロータリークラブとして誕生しました。因みに現在は地区67クラブに発展し、当クラブの会員数も46名を擁しております。

初代会長として日本甜菜製糖士別所長松田栄様、幹事大野忠義様から始まり、現在57年目を過ごしております。ここに至るまでの長きに渡る先達、諸先輩の皆様から受け継いだロータリー精神と理念を大切に、築き上げた歴史と伝統を守り、今後にしっかりと繋げて行ける様今年の士別ロータリークラブのスローガンである、「共に笑顔で支えあい輝く未来を創ろう」をもとに残り少ない任期を全力で頑張りますので、皆様の更なるご協力をお願い致します。

なお本日は、パスト会長本山忠之会員より創立記念日における卓話を頂きます。又、お祝いの会は27日の夜間例会に予定しています。

■幹事報告・・・・・・・・・・片庭隆暁 副幹事

1. 4月6日に新旧クラブ協議会を、グラウンドホテルで午後6:00より開催いたします。本日中に対象者に案内を出します。
2. 士別地域日台親善協会と士別国際交流協会より、まちづくり講演会の案内が来ています。入口のところに掲示してあり

ます。

3. 士別市政策懇話会「ひぶな会」より昼食交流会開催の案内が来ています。
4. 旭川西RCの創立60周年式典へ参加希望の方は、本日中に片庭まで申し出てください。
5. 次週は祝日の為、休会になります。次回例会は27日夜間例会となります。

■IM運営委員会・志村孝幸 運営担当幹事

1. 先週より、例会時の席順はIMの各委員会毎になっております。
2. 本日、例会終了後第3回IM運営委員会を当ホテル2Fにて開催致します。

●創立記念卓話・本山忠之パスト会長会会長

士別RCは1960年、昭和35年3月24日創立で会員数25名で認証申請をし5月12日RI承認を受けました。スタート時のスポンサークラブは旭川西RCで、当時の例会場は商工会議所、例会日は毎木曜日でした。

RI加盟認証状伝達式は翌昭和36年6月22日に行われ、来賓は、士別市長、士別市議会議長、第350地区ガバナー、旭川西RC会長、士別青年会議所理事長、道新、道北日报社、北海タイムス支局長、NHK駐在員と記録されております。

伝達式ではロータリーソングが斉唱され、奉仕の理想・それでこそロータリー・手に手つないで、他に英語の歌もあったようです。参加クラブは網走・赤平・旭川・旭川



西・芦別・深川・紋別・名寄のRCで、チャーターメンバーは33名（認証状伝達式チャーターナイト時点）です。

また、子孫として現メンバーに江端会員、大野会員、佐藤元信会員、志村会員がいらっしゃいます。

職業分類では、木材関連6名、金融4名（含農協）、商業9名、医療では市立病院、工藤歯科、百瀬内科、大谷外科で他に商工会議所専務が会員として記録されています。

当時の会員名簿はアルファベット順で記載されていました。

創立の経緯は、ロータリー20年史によりますと、当時の甜菜製糖所所長松田栄氏が面識のあった旭川西クラブの会員からRCの設立を強く勧められ又、士別赴任前の下関でRCの会員であったことから、士別の為になると判断し、最初に当時の士別市長佐々木良五郎氏の下承を得て発起人になってもらい、当時在籍していた士別経済同友会の会合でロータリー発足の提案を行い、森実、犬伏、西條氏ら他数名の協力のもと会員を勧誘していったようです。

会長は松田氏となったものの、最初の例会日に出席してこない、次の例会にも出席してこないのを会社に確認したところ本社に転勤したとのことで急遽副会長の森実氏が会長に就任するというドタバタの船出であったようです。記念誌に設立当時の思い出を寄稿された第3代会長工藤熊男氏（工藤歯科医院長）が書かれた文章を読みますと、ガバナー事務所から送られる文書はほぼ英文で翻訳に苦労した事、ロータリー用語が分からず理解できなかった事、当時のガバナーが非常に厳しい方だったようでガバナー訪問の時に何か質問されたら大変という事で委員長になってくれる人がいなく、工藤氏が答案を用意するから委員長になってくれと言ってガバナーを迎えた事、名寄RCで工藤氏がロータリーソングを教えてもらい歌えるようになるまで練習し、例会

でタクトを振りながら皆に教えた等が書かれております。今では考えられないような苦労の連続だったことが記されています。

昭和36年の地区年次大会は第350・352・355・360地区合同で東京で開催され森実会長が出席しています。翌年から350地区単独で開催となり、旭川などで開催されるようになったようです。

余談ですが松田氏が提案した経済同友会の会合では西條氏がライオンズクラブの発足の提案を行う考えであったと20年史に思い出として書いてあります。

また、昭和29年7月1日、市制施行により士別町・上士別町・多寄町・温根別町の四町にて合併し士別市となりました。人口は39,160人、戸数6,771戸で士別RC創立翌年の昭和36年には、人口41,218人、戸数7,678戸（昭和35年統計）であり、士別の人口が最も多かった年でもあります。この年以降人口は減少となっていきます。

当時の先輩方は、将来の夢に向かって活気があり大いに盛り上がっていたものと思います。

3月の結婚祝い



伊藤優市会員 菊地昭通会員
宮崎隆雄会員 織戸俊二会員